

粒々かゆ

～粒々かゆの提供をしてわかったこと～

特別養護老人ホーム いづテラス
管理栄養士 水谷衣里

1

いづテラス概要



平成20年6月開設
定員 80名(特養70 ショートステイ10)
全室個室のユニット型

2

ある日の昼食

- 粥ペースト作成

中途半端に粒々が残ってしまい



高評価

3

「失敗したかゆ」が良かった理由

- 全かゆでは、粒が多すぎて噛むことに疲れる。
- かゆペーストに落とすまでのレベルではない。
- 少しの粒々を口の中で感じるにより、咀嚼し、かゆということを認識できる。

4

入居者K様について(入所時H21.5.26)

- 介護度 5
- 障害老人の日常生活自立度 B2
- 認知症老人の日常生活自立度 IV
- ADL 食事・排泄・入浴 全介助
- 食事→全粥・超キサミ 汁トロミ 全介助
義歯の不具合・ムセあり誤嚥性肺炎の危険性

5

粒々かゆの作り方



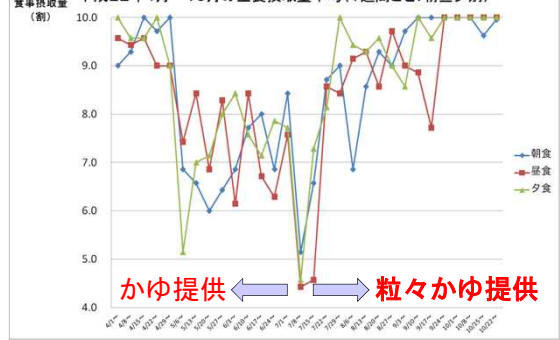
6

変更後の様子

- 記録抜粋7/20(夕)
- 粒々かゆへ変更。開口・咀嚼良好。
- 飲み込みよく、以前のかゆに比べると
- 粒が口腔内にたまることはない。
- 所要時間30分。

7

平成22年4月～10月の主食摂取量平均(1週間ごと:朝昼夕別)



8

その他の変化

スプーンの変更
車イスの変更
食事環境を変える
など

本人の意思を
確認できる
食事ケアに近づいた

職員・k様の意識が
変わるにより

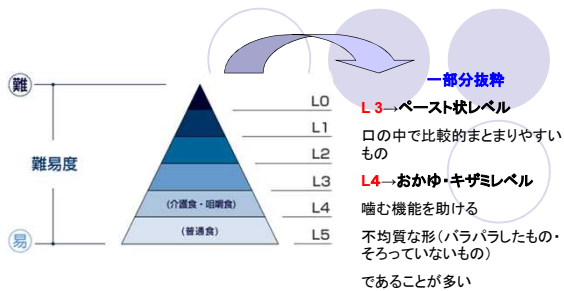
9

現在の様子 (入所当初からの比較)

- 体重34.8kg (BMI18.5) → 32.2kg (BMI17.2)
- アルブミン値 3.1 → 3.3
- 咀嚼・嚥下がスムーズに
- 表情の変化が出てくる
- 熱や嘔吐が続くことが無くなる

10

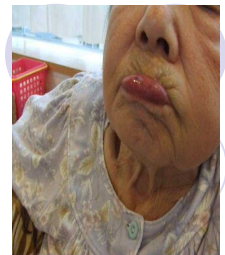
嚥下ピラミッドの分類



11

粥ペースト時の咀嚼

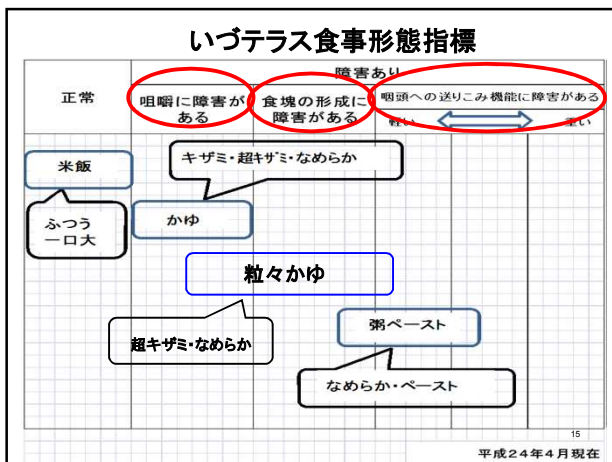
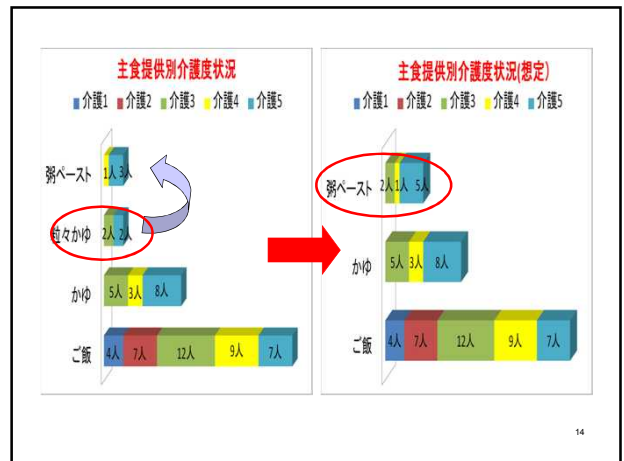
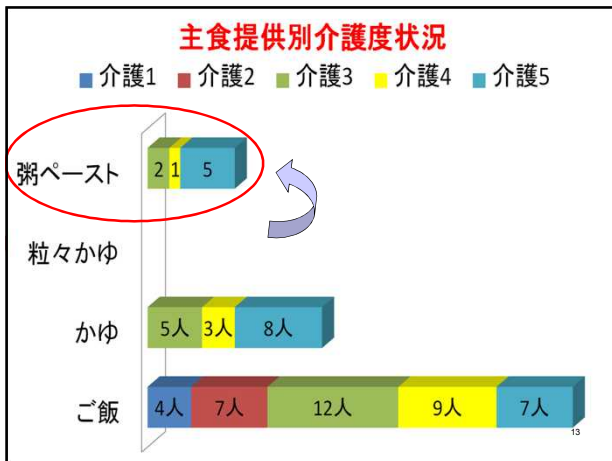
粒々かゆ時の咀嚼



ひと匙の咀嚼回数:8回

ひと匙の咀嚼回数:15回

12



「食事をしている・おかゆを食べている」
ことを実感してもらうために・・・

- 厨房スタッフに提供している物の重要性を理解してもらう
- 私自身が入居者様を理解する

今後の課題

- 食事についての見直しと共に、入居者の目線になって考える事を行っていきたい。
- すぐに形態レベルを落とすのではなく、問題点を把握する。
- その方の本来の咀嚼・嚥下機能を考慮したうえで、検討していく。

参考引用文献

- ・ネスレヘルスサイエンス (嚥下ピラミッドの分類) <インターネット:閲覧・参考最終年月日2012.6. 8>
- ・嚥下ピラミッドによる咀嚼・嚥下困難者レシピ100: 医師薬出版(株)
- ・黒田留美子式高齢者ソフト食標準テキスト2009: リベルタス・クレオ(株)



ご静聴ありがとうございました。

19